市役所公開模試	(車闘ない)
これなりとはない	(号[]を)りし

教養択一試験

総受験者数	178

	印包	ガ公角	! 假武	1号/	コめり)			大一部	心													総党験	首数			1 /	8		
	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	数処	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	人文	人文	人文
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30
<i>肢1</i>	126	2	4	13	13	4	4	78	11	18	35	76							41	45	15	6	65	7	7	34	16	20	52	18
	70.8%	1.1%	2.2%	7.3%	7.3%	2.2%	2.2%	43.8%	6.2%	10.1%	19.7%	42.7%	7.9%	20.2%	18.5%	12.4%	44.4%	4.5%	23%	25.3%	8.4%	3.4%	36.5%	3.9%	3.9%	19.1%	9%	11.2%	29.2%	10.1%
肢2	6			34				36		40					27						8	35			8		38			26
	3.4%	86.5%	23.6%	19.1%		37.1%	12.9%			22.5%								11.2%							4.5%	48.9%				14.6%
肢3	1	5	6	66				29							47				36		22									57
_ /	0.6%			37.1%			44.9%		26.4%				18.5%		26.4%					24.7%			29.2%			11.8%			19.1%	32%
肢4	16		26	48											21				46		53							57		42
- /	9%			27%		27.5%		10.7%				18%			11.8%		21.3%	27%	25.8%				10.1%	9.6%	56.7%	9.6%		32%		23.6%
肢5	28	_	98	14	22			12		34		30			44	24	9	70	15		76	14			27		14	13		34
	15.7%			7.9%	12.4%		_	6.7%	42.1%	19.1%		16.9%			24.7%		5.1%	39.3%	8.4%	24.7%	42.7%	7.9%		70.8%	15.2%	9%	7.9%	7.3%		19.1%
正答	1	2		2	4	2		1	5	2	5		2		5	5	1	5	1	1	4	3		5	4		3	3		4
正答者数	126		98	34				78				76							41		53	_				87	76			
正答率(%)	70.8%	86.5%	55.1%	19.1%	41%	37.1%	44.9%	43.8%	42.1%	22.5%	28.7%	42.7%	52.8%	68.5%	24.7%	13.5%	44.4%	39.3%	23%	25.3%	29.8%	59%	29.2%	70.8%	56.7%	48.9%	42.7%	14.6%	28.1%	23.6%
選択率(%)	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		-	_	_	_	_	_	-	-							_
	人文	人文	人文	人文	自然	自然	自然	自然	自然	自然																				
							No.37																							
肢1	58			41			-	9	20	0																				
	32.6%	11.8%	20.2%	23%	25.8%			5.1%	11.2%	0%																				
肢2	22	24	62	33	50	40	33	30	34	13								ĺ												
	12.4%	13.5%	34.8%	18.5%	28.1%	22.5%	18.5%	16.9%	19.1%	7.3%																				
<i>肢3</i>	22	18	35	42	48	33	28	51	85	25																				
	12.4%	10.1%	19.7%	23.6%	27%	18.5%	15.7%	28.7%	47.8%	14%																				
肢4	45			25				35		132																				
	25.3%	17.4%	23%	14%	9%	24.2%	24.7%	19.7%	10.7%	74.2%																				
<i>肢5</i>	30			32				50		7																				
	16.9%	46.6%	1.1%	18%	5.6%	23.6%	36.5%	28.1%	10.1%	3.9%																				
正答	1	5		5	1	5		5	3	4																				
正答者数	58		62	32				50		132																\longrightarrow				
正答率(%)	32.6%	46.6%	34.8%	18%	25.8%	23.6%	36.5%	28.1%	47.8%	74.2%																			\longrightarrow	
選択率(%)		_	_	_	_	l –	ı –l	_	_	_	I I					I		I I		1					ı 1			. ,	ı I	
,																											$\overline{}$	$\overline{}$		

上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	9300002001	-	28	筑波大学
2	0100120435	_	27	津田沼
2	0103958002	_	27	自宅
4	0100294428	_	26	立川
4	9103133212	_	26	沖縄(那覇)
6	0107402512	_	25	沖縄(中部)
7	0101485317	_	24	梅田
7	0107773212	_	24	沖縄(那覇)
7	9100901307	_	24	池袋
7	9103134912	_	24	沖縄(那覇)
11	0100059638	_	23	立川
11	0100415328	_	23	新宿
11	0105950512	_	23	沖縄(那覇)
11	0106297112	_	23	沖縄(那覇)
11	0107306512	_	23	沖縄(中部)
11	0107915112	_	23	徳島
17	0101042713	_	22	自宅
17	0102994805	_	22	池袋
17	0107335812	_	22	沖縄(那覇)
17	0107342812	_	22	沖縄(那覇)
17	9100094135	-	22	津田沼

4	公学	7 F	◒ੜ	14h	
- 4	44	╗瞧	℩≁	· 24	

	市役	听公開	模試	(専門	りあり)		専門語	沢一試	験													総受験	者数			16	33		
	政治系	政治系	政治系	政治系	法律系	法律系																							経済系	
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18			No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26		No.28	No.29	No.30
肢1	75	7	7	9	144	1	57	16	19	7	3	11	2	25	41	17	45	12	72		10	7	35		6	8	23	28		24
77- a	46%	4.3%		5.5%	88.3%	0.6%		9.8%		4.3%	1.8%	6.7%	1.2%	15.3%				7.4%	44.2%	4.9%	6.1%	4.3%	21.5%	4.9%	3.7%	4.9%	14.1%	17.2%		14.7%
肢2	27	7	13	3	6	7	29	5	13	63	21	11	27	16	40	27	36	74	56		8	15	25		2	-	29	24	-	7
П± a	16.6%	4.3%	8%	1.8%		4.3%		3.1%	8%	38.7%	12.9%	6.7%			24.5%				34.4%		4.9%		15.3%		1.2%	4.3%	17.8%	14.7%	7.4%	4.3%
肢3	33 20.2%	3 1.8%		33 20.2%	1.2%	95 58.3%		5.5%		65 39.9%	111 68.1%	132 81%	3 1.8%		3.1%	54 33.1%	33 20.2%	14 8.6%	24 14.7%		35 21.5%	4.3%	86 52.8%	13 8%	0 0%	124 76.1%	87 53.4%	6 3.7%	2.5%	48 29.4%
肢4		1.0%	33	99			_	63	_		24	01/0	1.0/0	94	24			20	14.7/0	02.2/0	107	4.3/0			155	70.1/0	14	3.7 / ₀		
HX4	15 9.2%	6.1%		60.7%	0.6%	52 31.9%		38.7%	63 38.7%	12 7.4%	14.7%	0.6%	1.2%	• .	14.7%	44 27%	38 23.3%	12.3%	4.3%	6.7%	65.6%	1.2%	13 8%		95.1%	1.8%	8.6%	33.1%		61 37.4%
肢5	13		32	18			30	70	46	15	3	7	128	10	52		9	40	1.0%	1	2	129	2	9.0%	00.170	20	9	49		21
1120	8%			11%		4.9%		42.9%		9.2%	1.8%	4.3%	78.5%	6.1%			5.5%		0.6%	0.6%	1.2%	79.1%	1.2%	5.5%	0%		5.5%	30.1%	-	12.9%
正答	1	5	3	4	1	3	_	5	5	5	3	3	5	4	5	3	1	5	2	3	4	5	3	2	4	3	3	4	1	3
正答者数	75	136	77	99	144	95	18	70	46	15	111	132	128	94	52	54	45	40	56	134	107	129	86	123	155	124	87	54	141	48
正答率(%)	46%	83.4%	47.2%	60.7%	88.3%	58.3%	11%	42.9%	28.2%	9.2%	68.1%	81%	78.5%	57.7%	31.9%	33.1%	27.6%	24.5%	34.4%	82.2%	65.6%	79.1%	52.8%	75.5%	95.1%	76.1%	53.4%	33.1%	86.5%	29.4%
選択率(%)	-	-	_	_	-	_	_	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	_		_
	级这么	级这么	级这么	级这么	级这么	协 公 玄	政治系	协 公玄	劢公玄	协 公玄																				
							以后来 No.37																							
肢1	127	6	110.00	41	6	73		13		18																				
132	77.9%	3.7%	3.1%	25.2%	3.7%			8%		11%																				
肢2	0	122	54	51	82		21	50		0																				
,,,,	0%	74.8%	33.1%	31.3%	50.3%	4.3%	12.9%	30.7%	2.5%	0%																				
肢3	21	15	42	14	23	38	30	52	92	131																				
	12.9%	9.2%	25.8%	8.6%	14.1%	23.3%	18.4%	31.9%	56.4%	80.4%																				
肢4	5	11	44	51	41	11		39	17	11																				
	3.1%	6.7%	27%	31.3%	25.2%	6.7%	10.4%	23.9%	10.4%	6.7%																				
肢5	7	5	16	5	9	33		8	23	2		ļ																	\longrightarrow	
	4.3%	3.1%	9.8%	3.1%	5.5%	20.2%	17.2%	4.9%	14.1%	1.2%																				
	1	2	2	4	2	1	2	3	3	3																				
正答者数	127	122	54	51	82			52		131																				
正答率(%)	77.9%	74.8%	33.1%	31.3%	50.3%	44.8%	12.9%	31.9%	56.4%	80.4%																	\longrightarrow			
選択率(%)	_	_	_	_	_			_	_																					

得点分布グラフ 16 14 13 13 12 10 人 数 2 得 点

上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	0101042713	-	31	自宅
1	0106791112	_	31	沖縄(中部)
1	0107335812	_	31	沖縄(那覇)
1	0107342812	_	31	沖縄(那覇)
1	0107915112	_	31	徳島
6	0100059638	_	30	立川
6	0100367828	_	30	立川
6	0103980304	_	30	新宿
6	0107864012	-	30	徳島
10	0102424405	_	29	沖縄(那覇)
10	0107345512	_	29	沖縄(那覇)
10	0107764312	_	29	沖縄(那覇)
10	0107814812	_	29	沖縄(那覇)
10	0107883212	_	29	沖縄(那覇)
10	9103133212	_	29	沖縄(那覇)
10	9300002001	_	29	筑波大学
17	0103435412	_	28	徳島
17	0105898012	_	28	新宿
17	0107014012	_	28	沖縄(那覇)
17	0107240112	_	28	沖縄(中部)
17	0107323612	_	28	沖縄(那覇)
17	0107809712	_	28	沖縄(那覇)

TAC公務員講座 秋試験向け公開模試 (市役所:専門あり) 講評

1. 教養択一試験

- **1. 文章理解** 市役所試験の文章理解は難易度も高くないので、できれば全問正答しておきたい。趣旨把握問題は、端的に言うと「何の話か」ということがわかればよいので、現代文でも英文でも筆者が何について論じようとしているのか、まとめながら読むとよい。
- 2. 数的処理 本模試は、やや難易度を低めに設定した。判断推理では、【No.9】(ベン図)は平易である。苦手な人の多い分野だが、基本的な問題だけでも正答したい。【No.10】(うそつき)は、出題頻度の高い分野である。本間は平易なので、不正解だった人は、解説を読んで理解してもらいたい。空間把握では、【No.13】(サイコロ)、【No.14】(折り紙)は平易である。【No.12】(立体の切断)は難解であるが、出題頻度は高い。解法だけでも理解してもらいたい。数的推理は、時間のかかる問題を多く出題した。【No.15】(速さ)、【No.18】(食塩水)は難解であるが、【No.17】(時計算)、【No.19】(三平方の定理)は、時間はかかるが平易である。時間配分を考慮した対策も必要であろう。【No.20】(資料解釈)は難解である。分数の比較法をしっかり復習してほしい。以上の点を踏まえると、13 問中7 問以上正解できれば、合格レベルと考えてよい。
- 3. 社会科学 法学分野は例年人権および統治で2問出題されており、難易度も基本的な判例の見解を問うている。近年は「新しい人権」が他の試験種でも頻出傾向なので、本模試以外のチェック項目として学習しておくと良いだろう。政治社会分野は政治制度・選挙制度・国際事情が頻出である。また、経済分野は例年3題出題されており、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎的な理論から金融政策が頻出である。ただいずれも基本的な内容が大半を占めるので、社会科学の出題全体でみると6割は正解が見込める。
- **4. 人文科学** 世界史の戦間期は頻出の時代といえる。また、他の試験種と比べて第二次世界大戦後の現代世界からの出題が多いのも特徴である。日本史は中世から近世の出題が多く、その内容も政治制度から外交・文化まで多岐わたる。地理は自然地理が頻出であるので、本模試では地形を出題した。また、農業も頻出であり、気候区分と関連させて整理するとよいだろう。
- **5. 自然科学** いずれも基本的な問題である。【No.35】は微分を用いた最大値を問題であるが、二次関数を用いた最大値、最小値の出し方も確認しておいてもらいたい。また、【No.36】のような、等加速度運動を用いた問題は頻出であるので、正答を得ることができなかった者は復習をしておいてもらいたい。できれば全問正解を目指してもらいたい。

11. 専門択一試験

1. 政治系 政治学では、[No. 1] のコーンハウザーの社会類型は、頻出でかつ「組み合わせ」による出題なので、是非正解したい問題である [No. 2] のアメリカとイギリスの制度については、本年ロンドンで五輪があり、かつアメリカ大統領選も実施されるため注目度が高い。本試験までには復習しておくことが望ましい。行政学では、[No. 3] の PPBS については、誰が導入したかを知っておくことが重要である。この際、ケネディ(およびマクナマラ)とジョンソンの違いが重要になるが、ケネディらは国防総省に、ジョンソンは全省庁にそれぞれで PPBS を導入したことを承知しておけば正解できるはずである [No. 4] の地方公共団体については、近年の地方分権論議の流行もあるため、どのような団体が設置され、どんな権限を持つことができるのかを図式的に知っておくことがのぞましい。社会政策の [No. 36] はやや細かいが、基本的な労働事情の傾向を理解していれば解答できるだろう。[No. 37] は近年、話題に上ることが多い生活保護に関する出題である。この機会に解説をよく読んで学習しておこう。 [No. 38] の育児休業制度もやや細かいが、雇用保険と合わせて理解しておこう。 国際関係では、[No. 39] のブレトン・ウッズ体制については、以降に続くニクソンショック(ドルショック)、スミソニアン体制、キングストン体制といった経済体制移行の歴史と関連付けて学習しておくことが望ましい [No. 40] の国際法については、最近のわが国の領土問題と関連のある「海洋法」関連の話題は、とくに要注意である。また肢文にはないが、国際司法裁判所や国際刑事裁判所の権限や役割なども押さえておきたいテーマである。

- 2. 法律系 本模試は概ね基本テーマを中心に出題されている。そこで,正答率が高い問題(特に 65%以上の問題)を目途 に基本事項を再度確認してほしい。今年度の本試験でも基本的問題を確実に取れたかが合否のポイントとなっているから である。本模試を契機に今まで受験した本試験の問題についても必ず復習することが大切である。また,今回の得点ライ ンであるが, 法律科目については計 17 問のうち 6 割以上の 11 問程度をできれば正解したい。以下各科目についてコメン トしていく。憲法については,人権は基本判例,統治は手続きに関する基本条文(衆議院の優越,解散等)を再度確認し ておくこと。表現の自由に関する【No.6】は博多駅事件,北方ジャーナル事件の基本判例を確認しておくこと。財政に関 する【No.7】は予算の法的性質,パチンコ球遊器事件等を確認することがポイントである。司法権の限界に関する【No.8】 については富山大学事件,共産党袴田事件,砂川事件等の基本判例を押さえること。行政法は,全般的に憲法人権と同様 に判例が問われることが多いので、今回出題された判例を中心に復習してほしい。特に行政事件訴訟法は例年どおり、各 種の本試験で問われている。行政指導に関する【No.9】については,品川マンション事件,武蔵野マンション事件等の基 本判例を中心に整理しておくこと。損失補償に関する【No.12】については、モービル石油事件、農地改革事件、奈良県た め池条例事件,名取川事件等の基本判例を押さえておくこと。原告適格に関する【No.13】については新潟空港事件,もん じゅ訴訟等の判例を押さえつつ近時の小田急訴訟も押さえること。**民法**は、代理に関する総合問題である【№14】につい ては,具体的事例を通して代理の基本的テーマをおさえること。質権に関する【№15】については質権の特殊性を押さえ ること。頻出テーマである債権譲渡に関する【No.16】は対抗要件、判例の準則を中心に確認しておくことである。不当利 得に関する【№17】については,要件・効果を再度確認しておくこと。不法原因給付は比較的出題されている。**刑法**は, 総論から頻出テーマである共犯と、財産犯から詐欺罪に関する出題である。共犯に関しては共同正犯の基本判例を再度確 認すること。【No.19】の詐欺罪についても出題された基本判例を確認しておくこと。**労働法**は本試験では比較的得点しや すい科目といわれている。労働契約に関する【No.20】については基本事項を再度確認しておくこと。また,不当労働行為 については各類型を再度確認しておくこと。
- 3. 経済系 経済原論については,概ね基本レベルの内容を出題しているので,おおよそ 8 割程の得点を目指してほしい。 【No.22】の利潤最大化に関する計算問題は,平均費用から総費用関数が導出できれば問題なく得点できたであろう。【No. 23】の二要素生産関数の計算問題は、多くの受験生が苦手意識を持っているが、パターン化できるので慣れてほしい。【No. 24】の効用最大化の計算問題は、公式を用いて解くことのできる問題なので確実に得点してほしい。【№25】の需要の所 得弾力性と財の分類は,教養択一試験でも出題されるほど頻出な内容であるため,必ずフォローしておきたい。【No.26】 の市場均衡における需要の価格弾力性の計算問題は、需要曲線と供給曲線を図示してから計算し始めると容易に求めるこ とができる。【No.27】のパレート最適の問題は、図がしっかりイメージできているかが解答の鍵を握る。【No.28】の国民経 済計算の理論問題は、教養択一試験でも出題されるほど頻出な内容であるため必ずフォローしておきたい。【No. 29】の財 市場分析の計算問題は,基本的なレベルであることから取りこぼしがないようにしたい。【No.30】の貨幣需要と貨幣供給 の理論問題は、LM 曲線と貨幣需要の所得弾力性や貨幣需要の利子弾力性との関係性をいかに整理できているかがポイント となる。【No.31】の IS-LM 分析の政策の効果に関する問題は、財政政策や金融政策による動きをしっかりおさえておけば 確実に得点できる。【No.32】の IS-LM 分析の計算問題は、IS 曲線や LM 曲線を定式化することができれば解答することがで きる。頻出テーマなのでしっかり得点したい。**財政学**については、【No.33】のわが国の予算制度に関する問題は、財政制 度の基本的な内容を問うものであり、教養択一試験でも出題されるほど頻出な内容であるため必ずフォローしておきたい。 【No.34】の法人所得課税に関する問題は、少し難しいと感じたかもしれないが、時事的なことも考慮にするとしっかりフ ォローしておきたい。【№35】のローレンツ曲線の図解問題は,図の見方を理解さえできれば解答できるはずである。

Ⅲ. 論 文 試 験

市役所の論文試験は自治体によってさまざまであるが、最も多いのは、受験する地域の活性化について論じさせる課題である。財政状況も厳しい中、それぞれの地域が住民に住み続けてもらえるような取り組みを推し進めている。面接でも問われる内容なので、これからなにをしていかなければならないか、具体的に述べられるように準備しておきたい。

以上



◆ TAC公務員講座 秋試験向け公開模試 結果データ ◆

【市役所:専門あり】

	平均点	受験者数	科目	問題番号	科目平均点
			文章理解	1~7	3.5点
			数的処理	8~20	4.7点
教養択一	16.0点	178名	社会科学	21 ~ 27	3.4点
			人文科学	28 ~ 34	2.0点
			自然科学	35 ~ 40	2.4点
			法律系	5~21	8.2点
専門択一	21.4点	163名	経済系	22 ~ 35	8.5点
			政治系	1 ~ 4 36 ~ 40	4.6点
小論文	※平均点は 算出しておりません。	160名	_	_	_
総合成績	35.52点	178名	_	_	_